



会計利益情報の有用性：
21世紀のパーспекティブ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2025-06-09 キーワード: 作成者: 屋嘉比, 潔 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002003148

学位論文要約

論文名	会計利益情報の有用性—21世紀のパーспекティブ—
氏名	屋嘉比 潔
<p>本研究は、日本市場における会計利益情報の価値を多角的に再評価し、その有用性に関する新たな知見を提供することを目的とする。会計情報は企業の財政状態および経営成績を測定する尺度としてファンダメンタルな役割を果たしており、その適時性と価値関連性は多くの実証研究により検証されてきた。しかし、情報環境の変化や技術革新が進む21世紀において、従来の知見を再検討する必要性が高まっている。本研究では、適時性、信頼性、情報開示行動、新技術の応用といった複数の視座から会計利益情報の有用性を検証した。</p> <p>第一に、Ball and Brown (1968) の枠組みを基に、日本市場における会計利益情報の価値関連性を再確認した。本研究では、2001年から2021年の日本データを用いて、Ball and Brown (2019) の追試を実施し、当期利益情報および次期予想利益情報が株価変動に与える影響を分析した。分析の結果、わが国においても会計利益情報が株価変動に対して依然として強い影響を持つことが確認され、会計利益情報が現代においても市場で重要な役割を果たしていることが示された。</p> <p>第二に、監査進捗状況が財務情報の質に与える影響を検討した。監査が未完了の段階で開示される財務情報には利益訂正リスクが高いことが確認され、監査の完了が決算発表の信頼性向上に寄与していることが示唆された。さらに、監査進捗度と会計発生高の質の間に正の相関があることが明らかとなり、監査の進捗状況が適時開示と信頼性のバランスを取るうえで重要であることが示された。</p> <p>第三に、代替的情報の普及が会計利益情報の相対的価値に与える影響を分析した。特に、経営者予想修正が減少する状況下で、四半期決算短信が決算発表における市場反応に与える影響を明らかにした。分析の結果、経営者予想修正が行われなかった場合には、四半期決算短信が重要な情報源となり、投資家行動において大きな影響を及ぼしていることが示された。</p> <p>第四に、機械学習技術を活用した利益予測の可能性を検証した。本研究では、決定木系アルゴリズムを用いて、利益予測モデルの有効性を評価した。結果として、従来の統計手法を超える予測精度を達成するとともに、利益予測モデルを基に構築した投資戦略が異常リターンを生む可能性が確認された。これにより、情報技術が会計情報の分析において新たな展望を提供することが示唆された。</p> <p>これらの知見を基に、本研究は、会計利益情報の有用性が依然として高いことを示すとともに、情報環境の変化や新技術の進展がその価値に与える影響を明らかにした。また、決算発表時の監査進捗度の向上、適時開示の質の改善、機械学習技術の活用といった政策</p>	

的・実務的示唆を提供し、日本市場における情報開示制度や市場効率性の向上に貢献する可能性を提示した。

本研究の成果は、21世紀の情報環境における会計利益情報の再評価を進める重要な一歩であり、学術的発展および実務的適用における新たな視点を提供するものである。